



## 寄附をいただいた方へのインタビューⅨ

「文化財通信」では、寄附をいただいた方々へインタビューを行い、京都の文化や文化財への御意見、さらに「文化財を守り伝える京都府基金」の取組への御指導などをいただいています。

安田育生 氏（ピナクル株式会社 代表取締役会長 兼 社長 兼 CEO）

今回は、京都の御出身で、M&Aビジネスのパイオニアとして御活躍をされている安田育生氏にお話を伺いました。

### ◎史跡が遊び場

西陣で育ちました。北野天満宮は遊び場の一つで、当時は今のように境内が整備されておらず、今の梅苑や御土居<sup>\*1</sup>の辺りで仲間たちと戦争ごっこなんかしていましたね。毎月25日の「天神さん」<sup>\*2</sup>の日には綿菓子や金魚すくいなんかの露店が並んで賑やかでね、毎月のように出かけたのを思い出します。

※1 豊臣秀吉が外敵の来襲に備える防塁兼堤防として築いた土塁で、境内に残る御土居は昭和40年に国の史跡に指定されています。

※2 御祭神である菅原道真公の誕生日である6月25日と薨去された2月25日にちなみ、毎月25日には境内に露店が並び、多くの人で賑わいます。京都の人は、親しみを込めて25日を「天神さん」の日と呼び習わしています。



現在の御土居周辺（北野天満宮境内で撮影）

### ◎京都のために

山田啓二前京都府知事と知り合い、「文化財を守り伝える京都府基金」の存在を知りました。西脇京都府知事とも「どうすれば京都がより良くなるのか」という視点で意見交換

をしており、少しでもお手伝いできればと思い寄附をしています。

※平成26年から毎年多額の御寄附をいただいています。

### ◎京都の良いところを大切にしながらも新しい取り組みを

京都は、パリやローマに匹敵する歴史ある街です。しかし、パリにあるルーブル美術館が象徴するように、どの街も、街の雰囲気や歴史を壊さないように、新旧をうまく融合させています。京都も歴史的景観を利用しながら新たな取り組みをしてほしいと思います。

京都には今、世界中から観光客が訪れています。しかし、単に京都の寺や神社といった「ハード」を見て帰るだけではもったいない。京都の歴史、この街にまつわる「物語」を知ってもらいたいと思います。

エジプトでは、夜にルクソール神殿やピラミッドを背景に、古代エジプトの物語をライトアップとナレーションで演出するショーが開催されています。京都でも、例えば本能寺で「本能寺の変」の、御所で源氏物語などをライトアップとナレーションで上演するなど、「ソフト」を充実させることに取り組んではいかがでしょうか。

### ◎京都がより良くなるために

18歳まで住んでいた京都ですが、外に出るまでその良さがわかっていませんでした。京都の良さを大切にしながらも、是非新しいことにも挑戦していただきたいと思っています。